

2026年2月4日

各位

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
株式会社北陸銀行
ほくほくキャピタル株式会社

「ほくほくイノベーション共創2号ファンド」の設立について

ほくほくフィナンシャルグループ(以下、「ほくほくFG」)の北陸銀行(頭取 中澤 宏)ならびにほくほくキャピタル株式会社(代表取締役社長 木田 弘誠)は、先端的な技術やサービスを有するスタートアップ企業を支援するために、「ほくほくイノベーション共創2号ファンド」(以下、「共創2号ファンド」)を設立しましたので、お知らせします。

1. 設立の経緯

本ファンドは、2022年10月に設立した「ほくほくイノベーション共創1号ファンド」(以下、「共創1号ファンド」)の後継ファンドとなります。共創1号ファンドは総額10億円で設立し、北陸・北海道の将来を担う起業家を発掘・育成するとともに、革新的な事業により成長が期待され株式公開を目指せる、全国の幅広いステージの企業を対象とし、累計19社に投資を行いました。

共創2号ファンドでは共創1号ファンドの投資方針を継続しつつ、ファンド総額を倍となる20億円として投資活動を拡大いたします。

2. 「ほくほくイノベーション共創2号ファンド」概要

名称	ほくほくイノベーション共創2号投資事業有限責任組合 (略称: ほくほくイノベーション共創2号ファンド)
ファンド総額	20億円
有限責任組合員	株式会社北陸銀行
無限責任組合員	ほくほくキャピタル株式会社
投資対象	将来の成長が期待され、①から③のいずれかを満たし、かつ株式公開を目指せる企業 ① 北陸銀行またはほくほくFGの事業とシナジーが見込める企業 ② 北陸銀行またはほくほくFGのお取引先の事業成長に資すると見込める企業 ③ 北陸三県及び北海道において次代の地域経済の中核的存在になることが見込める企業
目的	全国に展開する先端の市場・事業、製品・技術・サービスを有するスタートアップと協業し、地域経済のイノベーションを図ると共に、自行経営のDXの推進を図る
設立日	2026年1月14日
存続期間	10年(最大2年間の延長可能)

3. グループの取り組み

ほくほくFGでは、共創1号ファンド及び共創2号ファンドからの投資に加え、北海道銀行（頭取 兼間 祐二）が出資し、北海道ベンチャーキャピタル株式会社（代表取締役社長 浦田 祥範）が運営する「北海道グロース1号ファンド」（以下、「グロース1号ファンド」）を通じて、道内の地域経済の発展に資するスタートアップ企業への投資も併せて行ってきました。今後、共創1号ファンドおよびグロース1号ファンドからは複数の投資先が株式上場を予定しています。

当社はこれらのファンドを通じて、地域企業の成長に貢献するとともに、新事業、既存事業の革新を追求し、地域の発展に向け、積極的に取り組んでまいります。



4. 該当する SDGs の目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

北陸銀行 法人ソリューション部 スタートアップ支援チーム

TEL(076)423-7111